

事例紹介シート

①学校名	城陽市立東城陽中学校
②教科・領域 科目等	①家庭科 ②総合的な学習の時間
③単元名	乳児ふれあい学習 ①事前指導 ②体験学習
④目標	○赤ちゃん親子と接し、異世代との交流を深めることで、存在を身近に感じる。 ○大切に育てられたことを振り返り、生命の大切さを実感する。 ○やがて親になることを想定して、将来の自立した大人像を描くことに繋げる。
⑤受講者	3年生（150名）＊①②ともに2クラスずつ実施
⑥連携先	NPO 法人子育てを楽しむ会
⑦内容 ・取組の特徴 や工夫 等	① 事前指導（子育て支援団体と連携） ・乳児との接し方（発達段階と特徴、身体面・社会性について） ・実習に参加するに当たっての留意点（衛生・安全面の留意点、準備） ・赤ちゃん人形を用いて実習（抱っこの仕方と、おむつの替え方） ・授業後、交流するための自己紹介カード・質問表を作成 ・1年時に受けた助産師さんの講演振り返り ② 体験学習一班ごとに親子と交流 ・自己紹介、保護者・赤ちゃんの紹介 ・赤ちゃんとの交流 ・保護者へ質問し、妊娠・出産・育児の苦労や喜びを聞かせてもらう。 ・持参していただいた資料の説明を聞く。 ・自分のことも積極的に話し、中学生のことも知ってもらう。     
⑧成果・生徒 の感想等	・赤ちゃんが生まれたときの写真や、お腹の中に赤ちゃんがいたときの記録などを見せてもらい、本当に勉強になりました。 ・はじめは、赤ちゃんと話したり触れたりすることに不安があったけれど、赤ちゃんの可愛さや、保護者さんが優しくサポートをしてくださったおかげで、とても不安が和らぎました。 ・子育ては睡眠時間や体力をとっても使うものだと考えさせられた。 ・赤ちゃんの笑った顔を見ると疲れが吹き飛ぶよと言っていてすごくかっこいいなと思いました。 ・子育てはメンタルとの勝負と教えてくださり、その心構えがしっかりできたとき赤ちゃんが欲しいなと思った。 ・最後にハイタッチできた時は、赤ちゃんの、小さいけれどとても元気な温もりを感じられ、大変癒されました。自分も親に大切にされ、一生懸命に育ててもらったんだと感じ、親に感謝すると共に、大切にしてもらった自分自身も大切にできるように生きていきたいと感じました。